

紫陽花が色づき、その鮮やかさに目を奪われます。ちよっぴりうっとうしい季節ですが、その中にも喜びを見つけ出したいもの。雨の日は、「おうちの中でまったり過ごす」「いつもと違う室内遊びの工夫をする」または「雨対策をばっちりして思い切って出かける！」雨の日の楽しみを、**子どもはたくさん知っています。カタツムリも出てくるし、傘をさすことさえ嬉しそう。なんととっても水たまり！**ママの迷惑をかえりみずパシャパシャ！それだけで心は晴れマークです。

社会には、必ず**ルール**があります。大きな社会のルールから、家庭という小さな社会のルールまで。ルールとは、簡単に言うと「**やっていること**」と「**やってはいけないこと**」。そして子どもはなぜか「**やってはいけないこと**」が大好きのようにみえます。でも、それは本当に「**やってはいけないこと**」でしょうか？実は「**やられては(おとなが)困ること**」である場合が多いことに気がつきませんか？子どもは、「**やってみたい**」と心を動かして「**やってみる**」という経験を積み重ねるほど、**心も体も豊かに育っていきます**。それをただ止められてしまうことは、**豊かになるチャンス**を逃してしまうということ。「**ダメ**」という前に、まずは『**お子さんの様子**』と『**お母さんの気持ち**』を、少しみつめてみてください。

危険なことや、**周りに迷惑をかけていること**、明らかに今の能力では**不可能なこと**であれば、もちろん「**ダメ**」と言わなければなりません。もしそうでなければ、手をかして、またはいつでもフォローしてあげられる距離で見守って、**叶えてあげて欲しい**のです。未熟ながらも、見守られる中で**たくさんチャレンジ**をすることができた子は、**危険度**も覚えながら、自分の**力加減**を知ることができます。それは**勇気**や**自信**にもつながり、やがて一人歩きをはじめてから、今度は「できるか」「できないか」どこまでチャレンジできるかを**自分で判断**することができます。そんなことも踏まえて「**家庭のルール**」を決めてあげてください。**ぽけっと**では、**極力ルールを減らし、お子さんの様子や周りの状況などでその都度判断ができる場所**にしています。それが**お子さんの可能性を広げる**ことにつながると考えているからです。

センター長 山浦彩子(やまうら あやこ)

7月START

◆♪ いいこといいこと♪

- ◆「ふれあい遊び」毎日 11:00-11:30
 - 〈第1第2水曜〉えいごで遊ぼう (松本ようこ先生)
 - 〈第2第4木曜〉おやこでダンス (近ゆきこ先生)
 - 〈第2火・水〉マニスのお話し会 (丸山さちこ先生)
- ◆「0歳児つどいの広場」毎週木曜 10:00-11:00



休館日・開館時間

◆大掃除

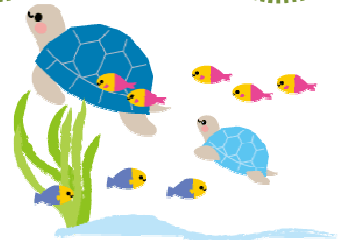
7/31(火)
※広場は11:00~

◆休館日

日曜・月曜・祝日

◆職員会議 7/21(土)

※広場・一時預かりのご利用は9:00-13:00になります



いいこと♪いいこと♪
広場の遊びから

無理をしないで・・・親子のペースをたいせつに

広場はみなさんにとってどんな場所でしょうか？お子さんはのびのび遊んでいますか？お母さんの気持ちは楽でいられますか？

私は子どもと出かけると、とってもしんどいお母さんでした。そして我が子も公園に知らない子がいると、うつむいて「帰ろう」と言いました。そしてふたりでシュンとしてしまうのです。今思えば、お互いの気持ちが反映していたのですね。

「上手くできなくちゃ」「仲良くならなくちゃ」「笑顔でいなくちゃ」そんな(ごうでなくちゃ)という思いが、自分自身を窮屈にしまったのかもしれない。肩の力を抜いて、まずは初めの一步を踏み出してみましょう。意外に他のお母さんも同じ気持ちかもしれません。上手くていいと思います。自分らしさをそのままに出すことができれば、楽になるし、なんとかなるものです！“公園デビュー”に成功したとはいえない私たち親子も、無理をしないで少しずつコミュニティを広げ、心配した娘も高校生になりましたが、とても自然体です。

「無理をしないで」お母さんとお子さんのペースをたいせつにして過ごしてください。私たちスタッフも、「上手に」より自分たちの個性を活かして、みなさんと過ごしたいと思っています。



◆ 山浦 彩子 (やまうら あやこ=アヤコ先生) センター長 ◆



一時預かり
ぶちのお部屋から

♪こーちょこちょ♪でリラックス ♡

♪いっぽんぱーし こーちょこちょ、
たたいて つねって 階段のぼって…
こちょこちょ〜♪

きっと皆さんにも聞き覚えのあるこのフレーズ。**ぽけっと**でも、いろいろな場面で登場していますが、**ぶち**の部屋でも、この歌が大活躍しています。ママと**バイバイ**して少し緊張気味のお子さんに、**♪こーちょこちょ♪**と、やってあげると、**心も体も少しずつほぐれて**いくようです。そうすると、やっているこちらの方も**なんだか楽しくなってくる**ので不思議です。

「もう一回やって！」って、ほぼ100%の確率でおねだりされます。そうすると、こちらますます張り切って**♪こーちょこちょ♪**と始めます。実は遊んでもらっているのはこちらの方かもしれません。

お寝床の前もお布団にゴロゴロしながら、**♪こーちょこちょ♪**ってやっているのと、ふっと気持ち**リラックス**。ねんねの前に、ふっと気持ちかゆるむと、**スムーズ**に入眠出来ると、先日の育児番組で紹介されましたが、「なるほど！」と納得しました。

あ、でもおやすみ前は興奮しすぎないように**ほどほど**が良さそうですね。今度、中学二年生になるウチの娘にも久しぶりにやってみようかしら？どんな反応するか楽しみです。



◆ 越智 恭子 (おち きょうこ=キョウコ先生) ぶち・広場 担当 ◆



ぽけっと

5月～6月の活動報告

えんげい ぽけっと 園芸につき

いいこと園芸

「いいこといいこと」スペシャル
ひろばのふれあい遊びと園芸体験

- 5/17(木) “花あそび”
- 6/3(木) “ひまわりの種まき”
- 6/15(金) “さつまいも苗の植え付け”



ぽけっと恒例

“花あそび”
色とりどりのぽけっとのお花をアレンジメント
ひろばがステキなお花屋さん!!



じゃがいもday おしらせ

7/7(土)&7/12(木)
11:00～13:00

“じゃがいもの収穫体験と試食会”

※雨天の場合、7日は試食会のみ、12日は13日に延期

みんなで植えたじゃがいもがいよいよ収穫を迎えます♪
長靴など汚れてもよい服装で、軍手・帽子・飲み物などあればお忘れなく!
試食会は、はしやスプーン・フォーク・タッパー容器をご用意ください!
(自由参加で～)



園芸クラブ

ぽけっと畑のお仕事を体験する会員制活動
みんなで一生懸命耕した畑に枝豆の芽ができました♪



園芸クラブ

ひまわりの花壇は園芸クラブの小学生親子と一緒にデザイン～土づくりを行いました

現在町内の8名の小学生が元気に活動中♪
園芸体験を土づくり・種まきから会員制で

- ① 5/12(土) 刈り取り＆土づくり
- ② 5/19(土) 畑のぬき作り～枝豆種まき
- ③ 6/16(金) 畑作業-グリーン豆種まき 野菜スタンプ遊び
- ④ 6/30(土) 畑の観察-追肥 花壇のお手入れ～花苗植え付け

ふあみさぽ ファミリー・サポート・センター

7月になりました。蒸し暑い毎日、いかがお過ごしですか？
葉山での夏といえば、やっぱり海での時間でしょうか。海水浴や磯遊びや浜辺での砂遊びなど、海での時間を楽しむ方法はいろいろ。子どもと一緒に初めての夏を過ごすママは、とっておきの浜辺情報など、先輩ママに聞いてみるのも楽しいものです。

さて、海や山へ出かける機会が増えると、どうしても事故予防など安全面に気を配ることが必要になってきます。子どもの事故はどうして起こるのでしょうか。子どもたちは毎日成長し、昨日まで出来なかったことが今日できるようになります。特に5歳未満の子どもたちは、屋外より家庭の中での事故が多いそうです。私たちも、ヒヤッしたりハッとしたことを思い出して、身の周りを点検したいものですね。無事故の援助活動ができますように、ファミサポでは、「こどもの事故と応急手当」をテーマに、まかせて会員さんの交流会を行い研修をすることになりました。皆さんの参考のために、いざというときのためのサイト・電話番号などもお知らせしますね。



アドバイザー一同

♪まかせて会員交流会♪ 7月5日(木) 10時～12時 みんなの部屋

♪こどもの事故を予防するために♪

◇キッズデザインの輪(経産省)

<http://www.kd-wa-meti.com/index.html>

◇こどもの救急(厚生省研究班/社団法人日本小児科学会監修)

<http://kodomo-gq.jp/>

◇かながわ小児救急ダイヤル(毎日18時～24時)

#8000 (プッシュ回線・携帯電話)

◇つくば中毒110番(365日 9時～21時対応)

029(852)9999

<http://www.j-poison-ic.or.jp/homepage.nsf>

子育てをこころの発達から考える 子のこころ 親のこころ

たいせつな預かりもの・・・いつか月へ帰るかぐや姫のように

生後2ヶ月になるKちゃんのお母さん。影の深い顔立ちのお子さんを見つめながら「娘は私にまったく似ていないので、夫からの『たいせつな預かりもの』と感じて・・・私は冷めているのでしょうか」と母になった心境を話してくださいました。

“目の中に入れても痛くない” “食べちゃいたい” といった、世間で求められる熱い母親のイメージとは異なる、ご自身の気持ちに戸惑っていらっしゃる様子。ご主人は日本から遠く離れた異国のご出身・・・「たいせつな預かりもの」という言葉にうやうやしく神秘的な響きがあって、私は月の世界からやってきた「かぐや姫」を思い浮かべていました。かぐや姫が月へ帰っていくように、子どもは成長していつか独り立ちをします。「おさんは生まれた瞬間からすでに自分の人生を歩み始めているのだから、親の想いを押しつけないで『預かりもの』という気持ちで子育てをできていればすてきですね。子どもの人格を尊重することになって、母親としてはむしろプラスになるのでは・・・」と感じたままにお話すると、「ほっとしました」と涙ぐんでいらっしゃいました。

だれもがそれぞれの“理想の母親”のイメージを抱いています。そして母になると、できればそうなりたいと望み、できないと苦しくなります。世間の常識で「～でなければならぬ」と思っているのか、自分が「なりたい」ところから望んでいるのか、区別がなくなること・・・母も子も誰一人として同じ人間はいないのだから、「これが理想の母親像だ」という正解も実体もないはずなのに、実体のないものに苦しめられます。ほんとうは、太古の昔そうだったように、目の前の子どもが求めるまま、母親が直感的に受けとるまま、本能のままに子育てをしていればそれで充分なのかもしれません。迷ったときには、日々の喧騒や世間の常識から離れて、つくられたイメージの奥に抑え込まれた気持ち「自分はほんとうはどうしたいのか」「子どもとときどうしてもらいたかったのか」を求めて、こころの奥深くを辿ってみませんか。きっとあなたらしい答えが見えてくるはずですよ。

◆上野 祐子(うえの ゆうこ) 副センター長・心理相談担当 ◆